

福岡市 NP0・ボランティア交流センターの指定管理者の候補者 選定の概況

福岡市 NP0・ボランティア交流センターの指定管理者については、下記のとおりその候補となる団体（指定管理者の候補者）を選定しました。

なお、選定された候補者を指定管理者とする議案が議会で可決された場合には、同指定管理者の候補者が指定管理者として、本施設の管理運営にあたることとなります。

記

1 指定管理者の候補者

「あすみん」マネジメントグループ

（構成団体 特定非営利活動法人九州コミュニティ研究所（代表）、株式会社ミカサ）

2 公募の概要

（1）応募団体数

2 団体

（2）募集スケジュール

- ・ 募集要項配布 令和7年6月 2日～7月25日
- ・ 応募開始 令和7年7月 9日
- ・ 応募締切 令和7年7月25日
- ・ ヒアリング審査 令和7年8月21日

3 選定の概要

（1）選定委員の構成

委員5名（学識経験者1名、財務専門家2名、施設管理経験者1名、施設利用者1名）

（2）評価基準、評価項目

別紙のとおり

（3）選定委員会による評価

	団体名	評価点
第1位	「あすみん」マネジメントグループ	164.8
第2位	一般社団法人 SINKa	114.0

※評価点は190点満点

（4）選定結果

施設の設置目的を踏まえた管理運営方針及び意欲、施設の効果的な利用促進策など、選定委員会において総合的に高く評価されました。

この選定委員会の評価を踏まえ、「あすみん」マネジメントグループを指定管理者の候補者に選定しました。

4 指定期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

◎お問い合わせ先

市民局コミュニティ推進部市民公益活動推進課 電話 711-4283 F A X 733-5768

評価項目	評価基準	配点
I 市民公益活動への理解が十分であること	○施設設置目的を踏まえた目標設定をしている。 ○実現可能で目的にあった効果的な運営方針を提案している。 ○施設の管理運営意欲・抱負・理念を持っている。 ○これまで培った実績等（類似業務の経験等）を活かした提案をしている。	15
II NPO・ボランティア交流センターの管理運営のための十分な能力があること	○業務実施体制など管理責任体制が適切である。 ○法令を遵守し業務を実行できる体制を整備している。 ○管理運営にあたって、充分な要員配置を行っている。 ○スタッフの勤務条件は適切である。 ○市民公益活動への支援（参画）実績がある。 ○管理運営にあたって、高齢者や障がい者等の雇用拡大施策への貢献・従業員のワークライフバランスの充実や男女共同参画の推進及びその他市の施策につながる方策を講じている。 ○施設運営・施設管理への従事にあたって必要な研修等を具体的に計画している。 ○施設の特性等を踏まえた適切な維持管理を計画している。 ○通常時からの安全対策や危機事案発生時等における対応が適切に講じられている。 ○個人情報・情報資産の管理体制について、十分な措置を講じている。 ○管理体制を維持できる安定的な経営基盤を有している。	55
III NPO・ボランティアを支援するための取組がなされていること	○事業実施に独自の工夫や提案がある。 ○業務管理マニュアル等を整備するなど、接客、苦情処理や、利用者の視点に立った迅速、的確なサービス提供方策を講じている。 ○利用者ニーズを的確に把握し、運営に反映させる工夫をしている。 ○サービス向上について、効果の高い提案をしている。 ○市民公益活動の支援に関する業務にあたって、必要な知識及び経験を有する者の確保を計画している。 ○市民公益活動への支援にあたって、スキルアップ研修等を具体的に計画している。 ○施設の利用促進について、広報や宣伝方法など効果的な対策を講じている。 ○施設の利用状況や、施設の特性などを踏まえた効果的な対策手法を提案している。 ○NPOや地域、企業、大学等の多様な主体との連携、共働の推進の方策について具体的に提案している。 ○年代や生活スタイルに応じた公益活動の体験機会創出や、次世代を担う若年層（大学生等）や就労（退職前）世代の公益活動への参加を拡大するための具体的な事業を提案している。 ○NPOの法人化等を含め、NPO団体に対する運営基盤強化に関する支援策について具体的な取組を提案している。	90
IV 管理経費	○予算額の積算根拠が適切である。 ○経費縮減の取組が適切である。	10
V その他	○福岡市に主たる事務所を有しており、かつ中小企業（みなし大企業を除く）である。 ○その他、独創的な事業を提案している。（任意）	20
評価点合計		190